

令和5年度三重県沿岸種資源評価

トリガイ



資源水準・動向

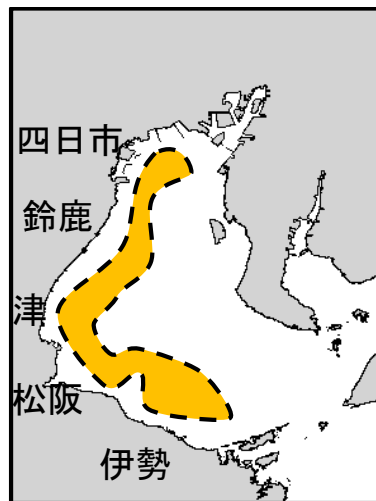
低位・減少

生物情報

- ・ 内湾の水深10～30mの砂泥底に潜って植物プランクトンなどを食べる。
- ・ 雌雄同体で最小成熟殻長は1cm、産卵は春～秋。
- ・ 満1歳で殻長6cm、満2歳で8cmに達するが、条件が良ければ1年程度で8cmに達する。
- ・ 貧酸素に弱く、2歳まで生残する個体は少ないとみられる。

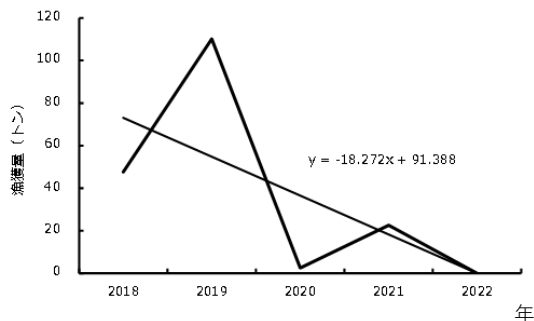
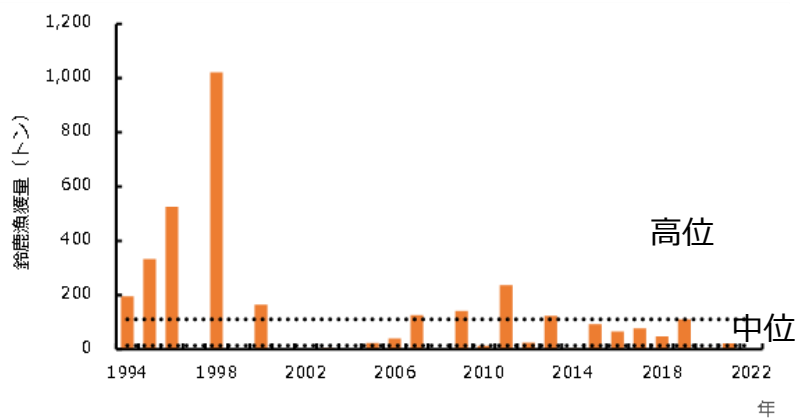
漁業の特徴

- ・ 伊勢湾内の水深15m程度の漁場で、小型底びき網によって漁獲される。漁獲主体は1～2歳。
- ・ 漁獲盛期は4～6月で、貧酸素水塊が発達する8月以降はほとんど漁獲されない。
- ・ 漁獲の全くない年も珍しくないが、繁殖力が強く、条件が良ければ資源は急激に回復する。
- ・ 近年は津市白塚地区や松阪地区での漁獲が多い。



資源状態

- ・ 鈴鹿地区の小型底びき網の漁獲量から資源水準は「低位」とした。
- ・ 鈴鹿地区の小型底びき網の直近5年間の漁獲量の推移から資源動向は「減少」とした。



資源管理の取組

- ・ 漁場が深いため、漁業者以外に採捕されることはなく、アサリやハマグリ等の漁では混獲がない。また、資源が少ない時には漁獲せず、確実に保護されている。

将来考えられる資源管理の取組

- ・ 貧酸素水塊の発生状況から来年の資源量を予測し、効率的かつ持続的な操業を実現する。